

イエスは主なり



日本クリスチャン・アシュラム連盟

日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創設されたキリスト教の新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 161号

「聖き大いなる約束」

(IIコリント6:14 - 7:1)

横山 義孝



アシュラムの恵みは旧新約聖書を通じてキリスト者に約束されている聖霊の内住をわが魂に頂くことにあります。この約束は旧約では「(イスラエル)の内に宿るためにわたしが、彼らをエジプトの国から導きだしたものである」(出29:46、イザヤ57:15、ゼカリヤ2:14)とあり、新約では「あなた方の体は神から頂いた聖霊がやどって下さる神殿であり…(Iコリント6:19、コロサイ1:27)とあります。聖霊が内に宿ってくださる時私たちには「イエスは主である」(Iコリント12:3)との明確な告白が与えられ、地の果てまでキリストの証人(使徒言行録1:8)とされます。更に愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制の品性の実(ガラテヤ5:22~23)を結ぶものとされ、希望と命に満ちたクリスチャン生涯を全うすることができるのです。

ではどうしたらキリストの内住を頂くことができるのでしょうか。それには二つの条件が満たされる必要があります。

1) 第一は「肉と霊との汚れから清められる」(IIコリ7:1b)ことです。これは過去の罪を悔い改めることです。パウロはロマ書で4つの罪を指摘しています①偶像礼拝の罪(1:18~23)、②性的な罪(24~27)、③道徳上の罪(28~32)④人を裁く頑なな心(2:1~5)「もし自分の罪を云い表すならば…罪を赦し清めてくださる」(Iヨハネ1:9)とあります。第二は「神を畏れて完全に聖なものとなる」(IIコリ7:1c)ことです。これは献身の信仰を献げることです。イスラエルの民は出エジプトのとき、子羊が身代わりに死んでくれたお陰で救われたのでした。私たちは神の子羊なるキリストイエス様が十字架で死んでくださった故に罪と死の呪いから救われたのです。それゆえ「あなた方は代価を払って買い取られたものです。だから自分の体で神の栄光を表しなさい。」(Iコリ6:19)と勧められています。私たちが自らの全てを献げ、主におゆだねするときキリストは私たちを生涯にわたって責任をとってくださるのです(ロマ12:1、イザヤ46:4)。「思い煩いは何もかも神に任せなさい 神があなたがたのことを心にかけてくださるからです」(Iペトロ5:7)共に主にゆだねて進みましょう。ハレルヤ。

(日本基督教団東京新生教会牧師)

想 霊

マ 書
16:25~27



「わたしの福音」

日本ホーリネス教団

本部直轄牧師

伊藤 節

各教会は常に伝道(宣教)に力を注いでおりますが、伝道は牧師や伝道師だけのものではありません。ルターは万人祭司と言いましたが、伝道は救いに与った全てのキリスト者一人ひとりと与えられた使命です。聖書出エジプト19・5、6、ペテロ12・5、2・9に語られております。

一、伝道で重要な事

聖書ペテロ13・15、16には、キリスト者であるあなたは「あなたの望みが何か」何時でも弁明出来る様に用意して居なさい。更に、弁明に当っては、何時如何なる時でも、何処に居ても、誰に対しても、内容に片寄りが無く始終一貫している事。そして、優しく慎み深い態度と言葉とを以て接し話しなさい、と語っています。

特に、次の項目に納得のいく説明と返答が出来る事なのです。

①あなたがキリスト者に成ろうとした理由は何ですか。

②あなたが現在もキリスト者である理由は何ですか。

③キリスト者であるあなたの現在の望みは何ですか。

④キリスト者であるあなたの現在の望みを望みたらしめている理由は何か。

二、使徒パウロの「わたしの福音」

聖書ロマ2・16、16・25、27、テ

モテII2・8に「わたしの福音」とあります。それは、

①パウロに受肉した福音の事です。

②パウロが信じ、彼の信仰生活、伝道活動等々、彼の霊・心・体その全て、全人格を統べ治め、彼の生命と成って、彼の思考・言葉・行動等人生に必要な全ての営みの基と成っている福音の事です。

③聖書パウロ書簡(ロマ)ピレモン13巻を以て私達が知る事の出来る福音の事です。

三、キリスト者なら誰にでもその人自身の「わたしの福音」が有る。

キリスト者のあなたは救いに与り、今も信仰生活を続けられ、先々についても確信を持って将来を見据えて居られる。その様にあなたをさせている福音の事。あなたが行為を伴う迄に信ずる事の出来た福音の

事。これがあなたに受肉したあなた自身の「わたしの福音」です。このあなたが有る「わたしの福音」に依ってあなた個有の「わたしの望み」を抱いて生き、日々の生活が導びか

れていると言っても良いでしょう。

四、キリスト者は誰でも「わたしの福音」に依って伝道できる

聖書ロマ16・25、27にはパウロの「わたしの福音」とキリスト宣教とを用いて主なる神は聖書に語る神の御意を詳かにし、人々を救い、慰め

平安を与え力を与え力づけて下さると語っています。この御言は、主なる神がキリスト者のあなたの「わたしの福音」もパウロ同様に取扱う約束です。この神に栄光あれと語っているのです。あなたも大いに伝道し、主なる神の栄光を讃えましょう。

五、真の伝道者は主なる神

①もし、あなたが「あなたの望み」と「わたしの福音」を語る事に自信

が持たず躊躇したり不安を感じるならば、伝道に先立って、牧師立会の許、先ず、あなた自身の救いの確信を固める為に、御言を通して主なる神から証言を戴く事です。(ヨハネ8・12、18)

②もし、あなたから福音を聴かれた方が「あなたの望み」には肖りたいが、あなたの「わたしの福音」ではキリスト信仰に立てない、と言われたならば、その旨を携えてその方を牧

師(伝道師)の処へ御連し、委ねれば良いのです。

③もし、あなたの伝えた福音を聴かれた方が正しく信じられたか心配でしたら、それは取越苦勞です。その方の洗礼式で信仰の告白が為され、多くの証人の前にその方は立つのですから大丈夫です。

④病床伝道等で洗礼の機会が得られず召天等々不測の事態も生じます。ですから、①項の主なる神の証言は重要です。そして更に大事な事は、

ロマ16・25、27が語る通り、あなたの力、あなたの頑張りの方で伝道するのではありません。あくまでも主なる神が伝道なさるのです。聖霊が下る時あなたは力を受けて地の果て迄キリストの証人と成るのです(使徒1・8)主なる神に寄頼みましょう。福音受諾の可否応答は分かりません。

六、クリスチャン・アシラムの目指す処は福音の受肉

伝道活動も含め信仰生活はその人に受肉した福音の域を超える事は出来ません。知識に留る福音は日々の具体的信仰生活には寄与しません。

クリスチャン・アシラムは福音の受肉を豊に得させる運動です。

それは神の国の地上体験と真の弟子となる事を目指しており、中心は「言は肉体となった」だからです。

ハレルヤ・イエスは主である。

証 立 「アシシラムの恵み」 浦和別所教会 井戸上 絵里

一年に一回行われる教会アシシラムの全プログラムに参加したのは、今年を含めて2回目です。今年はずき手に、横山義孝先生をお迎えして、先生の力強いメッセージをいただき、また、同じ祈りのファミリーで、先生と共に恵み深い祈りの時を持つことが出来たことを心から感謝致します。

私は、キリスト教とは全く無縁のごく一般的な家庭で育ちました。幼少期2年間通っていた保育園が、キリスト教系だったので、主の祈りを唱え、讃美歌を歌い、クリスマスには降誕劇をして、神様を賛美した記憶があります。それが、神様との最初の出会いでした。卒園してからは、全く教会とはかけ離れ、高校は仏教系の学校に通っていたので、教会より神社仏閣に馴染みのある生活を過ごしていました。

生まれた時から発音が悪く、手足がとても細いガリガリの子どもだった私は、クラスの男子からいじめられ、悲しい思いをしていましたが、親に心配をかけまいと辛さを見せず、学校も休まず行くことが出来ました。勉強も運動も出来ず、人と比べて自信をなくし、劣等感だらけの小中学

校時代でした。

二十代半ばに、クリスチャンホームで育った夫と出会い、翌年に結婚式の日程が決まった数ヵ月後、朝起きると思うように体が動かず、体全体の筋力が低下するという状態になってしまいました。入院し何とか動けるようになり、埼玉での新生活をスタートした後、大病院で検査入院をしました。約4年間に亘り3回も入院し、あらゆる検査をしたものの、はっきりとした病名もつかず、挙句の果てに医者から、将来車イスか寝たきりになるような病名を告げられました。後に誤診でしたが、言われた時は絶望感と不安にさいなまれ、こんな弱さのある私と結婚した夫に申し訳ない気持ちになり、離婚も考えましたが、「どんな状況になってもずっと支えていく」と言われ、夫の両親も「二人が仲良く支え合っていくことが嬉しいから」と私の全てを受け入れて、いつも祈ってくれました。精神的にも支えてくれる家族のおかげで、気持ちも前向きになつてきましたが、時々だるくて思うように動けない足に悲しくなり、イライラする気持ちを夫におつてしまい、暗闇のトンネルの中に閉じ込められているような状況に陥っていました。そして救いを求め「教会へ行きたい」と強く思うようになりました。

夫は大学生の時に洗礼を受けた後、就職後は教会から遠のいていました。二人で浦和別所教会に導かれました。「疲れた者、重荷を負う者はだれでも私のもとに来なさい。休ませてあげよう。」このみ言葉にとても慰められました。そして教会の方々の祈りに支えられ、2000年のクリスマスに洗礼を授かりました。

受洗後の私は、受洗したことに満足してしまい、サタンの誘惑に引きずられて礼拝も休みがちとなりました。そんなある日、仲の良い姉妹から東京聖書学校の聴講に誘われました。学びは難しいながら、とても豊かな時となり、神学生との交わりも楽しく、毎週の聴講が待ち遠しく感じます。学校に通うようになって私の心も大きく変わり、今までの自分を悔い改め、礼拝が何より大切に思いうようになりました。

今まで自分の悩みを打ち明け、祈ってもらうことに恥ずかしさを感じていましたが、今回のアシシラムで心を開いて話すことが出来、祈りの力に大きな恵みを頂きました。日常生活において主と向き合う時を持つことの少ない罪深い私ですが、主はいつも暖かい愛で包んで下さっています。病気になるた事で教会に導かれたのも、主が見えない力で大きな

み業を成して下さっている、ということに改めて気付かされ、心から感謝致します。

第25回 浦和別所教会

アシシラム報告

山田 称子



「主のみ前に立つ祝福」

二〇一〇年度の浦和別所教会「みことばに聴く」(教会アシシラム)が、七月一〇日(土)一九時より一二日(日)一五時三〇分まで、主日礼拝を含む形式で行われました。

一九八七年二月に第一回の教会アシシラムが横山義孝師の導きのもとに行われました。複数教会との交わ

りを願い、証し人を他教会より招いて行われてきました。

今年(第二五回目(年に2度開催した年がありました))を記念し、横山義孝先生に助言者としてご奉仕をして頂きました。アシユラムを通して、日々み言葉に接し、主なる神様との出会いが与えられ、信仰を養われています。浦和別所教会にとっても教会形成と信仰生活の柱として重要な時です。

主題は教会の年度の聖句で、今年度はヨシユア記一章九節。み言葉を思いめぐらしつつ、開会礼拝にはヨハネによる福音書二章一〜十一節のカナの婚礼からみ言葉を頂きました。神様は求める者に、もつと素晴らしき物を用意して下さる。自らの不足を知ることが、今何を求めるべきなのかと導かれ、開心の時に備えられました。

七人以下の小グループに分かれ、自分のニードを言葉で表現し、お互いのために祈り合い、連鎖祈禱に向かいました。

連鎖祈禱の場所は、自宅または教会で多数の方々に参加をしてもらいます。

翌朝、「恵みの分かち合い」の時間に祈りとみ言葉を通して与えられた恵みを小グループで分かち合います。それぞれが聖霊に導かれつつ、主よりの答えの道へと一歩、また一

歩進ませて頂きます。

主日礼拝では「聖霊に導かれる生活」と題してみ言葉が語られました。聖霊に導かれて歩む日々は、①キリストの贖いの恵みによって私たちは神の宮とされ、心の内にキリストご自身が住んで下さること。②主にあって平安が与えられる日々であることを確認しました。

沢山のみ言葉に一人一人が出会い、神様のみ声を聴く時であるアシユラムは、霊的な健康診断の一時と言えます。主のみに立ち、み言葉による霊的健康診断は、信仰の勝利を導きます。主に感謝。ハレルヤ!!

第29回 横浜岡村教会

アシユラム報告

安藤 脩

岡村アシユラムも29回を数える事が出来ました。

今年(感謝なアシユラムの時)を持つ事が出来ました。

開催日時・7月17日(土) 午後3時〜18日(日) 午後3時30分

主題は「わたしの福音」ローマ人への手紙16章25〜27節で、福音の時として伊藤節師がご奉仕くださいました。このアシユラムのためにはおのおのが2週間、ローマ人への手紙を最初から毎日1章ずつ読んで準備祈禱をしました。

祈りの細胞は3グループに分かれます。座長を務めるのは今まで女性が多かったのですが、初めて3グループとも男性の座長でした。2名は座長を務めるのが初めてでした。2日目の祈りの細胞は、9時からで、ジュニアチャーチの子どもも来ますので、これも縦割りです。3グループに分け、同じように祈りの課題(子どもグループではニードと表現していない)をJ.Cのスタッフが座長となり、互いに祈りあいます。自分がお友達のために祈る子どもアシユラムは、子どもたちにとっても、常と違い新鮮味があるようです。

ファミリアアワーは、教会の課題や、互いを更によく知るために持たれますが、今年(は、安藤善枝姉の甥子さんがイスラエル旅行を編集したDVD(前編1時間)を見ました。場所の解説と共に、讚美、ショートメッセージも入った素晴らしいものでした。

掲載の全体写真は、2日目の「労作の時」の後に写したものです。長い霊的緊張をほぐすための労作の時ですから、短い2日のアシユラムには必要ないのかもしれませんが、パロウの戴冠式からユーモラスに、パロウの指示に従って、楽しく作業します。現在、日本内のアシユラムで労作の時をプログラムに入れているのは岡村アシユラムのみだろうと思います。

今年の参加者は開心の時18名。福音の時50名、最後の充満の時26名でした。



各地区アシユラム予告

●第45回九州アシユラム

とき 10年11月2日(火)〜3日(水)
ところ 福岡黙想の家
助言者 今村幸文師

(平針キリスト教会協力 牧師)

〒一八〇〇〇 三鷹市井口3-15-6
池の上キリスト教会内
日本クリスチャン・アシユラム連盟
振替口座 東京〇一〇〇一四五五八